第1回　帛の郷運営推進会議　会 議 録

園　長	次長	係長	主任

令和	5	年	5	月	25	日	（	水	）
午前（○）	午後	10	時	00	分	～	10	時	30	分	まで

司　会	記　録
馬場	馬場

【 出 席 者 】

山田茂樹、樋口玲子、二宮修一、小倉百合子、清野芳明、中川律子

廣川規之（五泉市高齢福祉課）、矢部園長、山田次長、田中主任、馬場

計　11名

【 欠 席 者 】

岩村政平

大橋昇

山崎浩（五泉小学校校長）

議　題	協　議　内　容　・　結　果
	※年度初めのため、会議名簿と緊急連絡網を配布した。
1. 開会挨拶	○矢部園長より挨拶
	・4月より新しく委員となった方から挨拶をいただく。
	清野芳明様、廣川規之様、田中主任
	・コロナウイルスの感染症分類が5類に移行し状況が緩和しつつありますが、引き続き
	感染症対策は継続していきます。
	・面会は4月より対面面会を再開しています。入居者の外出行事もチューリップ見学や
	ぼたん園へ行ってまいりました。
2. 施設概要	・平均介護度4.2、平均年齢88.2歳（最年少76歳、最高齢104歳）。
	・職員の状況では、前年度と変更点あり。生活相談員が介護職員と兼務で1名に、
	介護職員が介護支援専門員と兼務で1名増え17名に変更となる。
	・昨年度の面会者数（延べ人数）は719件と令和3年度の約倍であった。これは看取り
	対応の入居者が複数名おられその方々の面会が多かったことが要因である。
3. 入居者等の処遇	・3月4月は誕生会をしました。またホワイトデーにおいて男性入居者、男性職員から
の状況	ラッピングしたお菓子をお返しとして渡してもらった。異動職員のお別れ会は憩いの
	ホールに集合しおこなった。4月にはお花見散歩やチューリップ外出、買い物外出を
	おこなった。
4. 入居者様の健康	○受信（往診）状況【延べ人数】
管理状況	・3月11人、4月13人
	・主な受診先は五泉中央病院7件、主な往診先は笹川歯科8件。

議　　題	協　議　内　容　・　結　果
	○入院状況
	・3月1件、4月1件（いずれも亀田第一病院）
	○最近の状況
	・堀内皮膚科の閉院に伴い4月から五泉皮膚科の医師が往診。
	・99歳女性が転倒により右大腿骨を骨折し亀田第一病院に入院。
	・下顎脱臼の女性が整復困難となり看取り対応となり永眠。
	・職員の一斉抗原検査は5月いっぱい継続。
5.事故・苦情等の	○事故の状況（延べ数）
状況	・内出血43件、外傷12件、その他計62件。
	・行政報告3件（骨折2件、落薬1件）
	・その他の主な事故について概要と対応策を報告。
	○ヒヤリハットの状況（延べ数）
	・計6件。主な内容と再発防止策を報告した。
6.活動実績・今後の	○5月下旬から新潟医療福祉カレッジの学生が実習する予定。
予定	
7.その他（意見交換）	・高齢の方が入居していることがわかった。ほんの少しの時間差でも事故になるとわかった。
	・事故が多く、特に内出血が多い。嘱託医は診るにきてくれるのか。
	→多くは1cm程度の小さな内出血である。皮膚がめくれるような場合は受診をするが、
	そこまでではない場合は経過観察をしている。入浴の脱衣時に気付くものもあり、
	どこにぶつけたか不明の場合もある。事故件数が多く、防ぐことが難しい。傷に
	ならないよう注意していく。
	・認知症とわかっていても大変だ。
	・見守り対応は大変であり、事故に携わった職員の心情を思うと辛い。
	・外出が増えた。コメリ書房に買い物に行くことは、社会とかかわることができる
	ためよいと思う。今後は自分の住んでいた家庭に1時間でも2時間でも戻れる日が
	くるといいなと思う。
	・高齢の方が多く入居している。目が離すことができないと思う。
	・6件のヒヤリハットは次につなげてほしい。
	（矢部園長より補足）
	・基礎疾患がある方や高齢者はコロナウイルスに感染すると重症化するリスクがある
	ため今後も職員や入居者はワクチンを接種する予定。
	・令和6年4月で帛の郷解説10周年となる。施設内でお祝いし、記念広報誌発行予定。
	(次回開催は7月の予定)